

熱板+熱風、スイングで

ワイシャツの仕上がり感いい

ユーザーは語る

今回のレポーター
㈱エンゼルクリーニング
大浦保社長 (川崎市幸区)

「肩の乾き具合がより良ければ、なおベター」

機械を購入する際、品質や生産性など気になる点があるが、一番は「実際のところ、どうなの？」だろう。ならばユーザーに聞くのが早道。川崎の㈱エンゼルクリーニング(大浦保社長)は長年、1店舗ながらワイシャツプレス3台(現在は2台)揃え、素材で使い分けるとワイシャツに力を入れてる業者。その同社がこのほど、ワイエイシイ(株)(本社東京都昭島市)が昨年の全国展で発表した新型のシングルワイシャツプレス「YPS-301A TYPE3」を導入した。ワイエイシイのワイシャツプレスは初購入だったが「美演を見て即決した」と大浦社長。決め手だったという「脇や袖の仕上がり感」「製品としての安心感」などをレポートした。

「ばダメ」とワイシャツに力を入れてきたという。浦社長曰く、最近までは、シングルワイシャツプレス2台が並び、綿場の環境改善を考え、やむ無く1台減らした。

開店当初は「毎日、緊張してガチガチ、直立不動で『いらっしゃいませ』もまともに言えなかった奥さんも、今では地域の看板ママだよ」と笑いなから話す大浦社長。

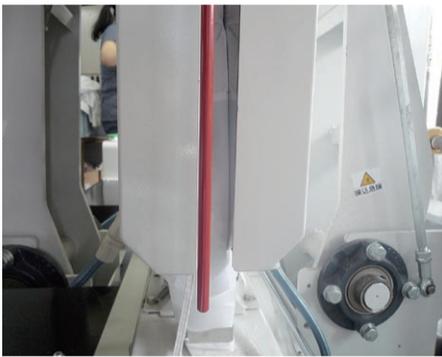
以来、川崎市幸区の住宅街で長年、堅実な商売に努め、地域の人達に親しまれてきた。現在は「ママの店だから」とやってくる若い男性客も多いとか。だから、ワイシャツも多く集まる。大浦社長自身も「個人の店は個性や特色を大事にしなければ



大浦社長(左)と綾子さん



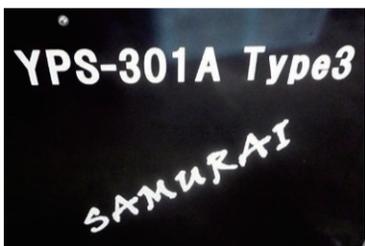
シングルワイシャツプレスYPS-301A TYPE3



熱板でガッチリ+熱風で脇の仕上がりが良いという



袖のつけ根ジワを防ぐスイング機構がお気に入り



今回、ワイエイシイ社のワイシャツプレスを初めて購入したが、それまでは他社製のプレス機を3台、4台と買い替えてきたという。

「購入するいきさつは、その愛用していた1台が壊れたためだった。話によると、部品数の多い機械で故障が多く、騙しだまし使い続けていたところがあったそうだ。いよいよ買い替えを思案した

した時が、ちょうど全国展の時期。良い機械はないかと見てまわったところ、新型のワイシャツプレスを発見。

長年使い続けてきた経験から、第一印象で「シンプルで頑丈そう。製品としての安心感がある」と直感が働いたと言った。

二つめは、「脇部分の仕上がり(乾き具合)が良い」とのこと。熱板で挟みながらボディ両脇(ボディの風船を膨らませる部分)から熱風が出る。簡単に言うと、熱板と熱風で乾かしてくれる。「ワイシャツもサイズなど色々あるから、全部が均一にできるとまでは言

また使ったことはなかったが「仲間から良いと代から」製品づくりの流

「一つは、ボディの部分が熱板でガッチリ挟んでくれるところ。説明によると、ペダルを踏むと同時に挟み込む(リンク機構)というのがある、ボディの熱板が前後からガッチリ挟んで、ワイシャツをピンチと仕上げられるとのこと。圧力面も高く乾き不良がない点が良い。現在使用している機械は面圧が低く、全体的に甘い感じがしていたから良かった。」

「天体、壊れやすい部分」と言えば、電磁弁や、伸び縮みするシリンドー部が多い。また、モーターとファンのトラブルが多く、プロワーマーターを入れ替えたりして使っていた。シングルワイシャツプレスを2台置いていた理由はこのため。

「本来は、ダブル1台で前身のプレス部分ではなく、中側の軽い人体部分のスライドする機構もスライドレールなどの耐久面から「頑丈そう」に感じて気に入った点なのだった。」

「気になる点は肩の乾き具合」

「概ね、期待通りだった。一方、物足りない面

「好印象だった。」

「また、重さのあるボディ」

「これでも余談になるが、大浦で夫妻は当時の厚生省認定、上級クリーニング技術者の第一期生でもあるそう、これ」と決

「断だね」と大浦社長。また細かい話だが、カラーなど消耗品の交換作業が、やや面倒くさそう

「また細かい話だが、カラーなど消耗品の交換作業が、やや面倒くさそう

北米、EUで好評のワイシャツプレスの国内版

高風量で高速乾燥

シングルボディスリーブプレス機
YPS-301A TYPE3

デザインシャツにも対応

主な特長

- (リンク機構)で面圧の高いきれいな仕上がり
- (スイング機構)で袖の引っ張りジワを軽減
- スプリングパッドでいつも安定した仕上がり
- シリコンパッドの採用&タフなフレーム構造で耐久性が高い



ワイエイシイ株式会社

クリーニングシステム事業部 〒196-0021 東京都昭島市武蔵野3-10-6 URL: www.yac.co.jp
 電話042-546-1164 FAX042-546-8776 E-mail: cs@yac.co.jp
 大阪営業所 〒541-0054 大阪市中央区南本町4-5-7 東亜ビル9階
 電話06-6281-2740 FAX06-6281-2743

よもやま話

話を聞くなかで、機械をひと通り揃えていて、何と配管までも在庫している。業者が施工した配管が気に入らないと、手直しをしちゃったりもするとか。

「これでも余談になるが、大浦で夫妻は当時の厚生省認定、上級クリーニング技術者の第一期生でもあるそう、これ」と決

「断だね」と大浦社長。また細かい話だが、カラーなど消耗品の交換作業が、やや面倒くさそう

「話を聞くなかで、機械をひと通り揃えていて、何と配管までも在庫している。業者が施工した配管が気に入らないと、手直しをしちゃったりもするとか。」

「これでも余談になるが、大浦で夫妻は当時の厚生省認定、上級クリーニング技術者の第一期生でもあるそう、これ」と決

「断だね」と大浦社長。また細かい話だが、カラーなど消耗品の交換作業が、やや面倒くさそう

「話を聞くなかで、機械をひと通り揃えていて、何と配管までも在庫している。業者が施工した配管が気に入らないと、手直しをしちゃったりもするとか。」

「これでも余談になるが、大浦で夫妻は当時の厚生省認定、上級クリーニング技術者の第一期生でもあるそう、これ」と決

「断だね」と大浦社長。また細かい話だが、カラーなど消耗品の交換作業が、やや面倒くさそう

「話を聞くなかで、機械をひと通り揃えていて、何と配管までも在庫している。業者が施工した配管が気に入らないと、手直しをしちゃったりもするとか。」